

おだのなおたけひつ じどうあいけんず  
小田野直武筆 児童愛犬図

- 1 種 別 有形文化財（絵画）
- 2 名称及び員数 小田野直武筆 児童愛犬図 1幅
- 3 形 状 絹本著色 軸装
- 4 寸 法 縦41.5cm、横64.0cm
- 5 制 作 者 小田野直武
- 6 制 作 年 代 江戸時代後期
- 7 所 在 地 秋田市中通二丁目3番8号 秋田市立千秋美術館
- 8 所 有 者 秋田市
- 9 説 明

円窓の中に2人の唐子と洋犬という画題は、中国及び西洋の絵画に想を得て描いたものと考えられる。ほの暗い屋内には、台や器、脇には建具が描かれ、遠近法、陰影法を用いることで画面の奥行きが生まれている。窓辺の光の中の2人の唐子と窓に前足をかけた洋犬は、東洋画の伝統的な技法である裏彩色により、一部にプルシャンブルーという西洋の絵具を用いるなどして、それぞれの質感と立体感を描き出している。直武の熟達した技法と、西洋画の写実的な表現に迫ろうとする意欲的な探究心を見ることができる作品である。

落款は、画面右下に「小田野直武畫」の墨署と、白文方印「羽陽之印」、朱文方印「字日子有」が押されている。

### 参考

重要美術品認定「絹本著色児童愛犬圖 小田野直武筆」 昭和11年（1936）9月12日

